



CITY OF NAGASAKI

メッセージ

このたび、「国分寺市平和祈念式」の開催を迎えるにあたり、長崎市民を代表してメッセージをお送りします。

主催者の皆様におかれましては、核兵器のない世界の実現に向け、長年にわたり活動してこられたことに深く敬意を表します

1945年8月9日午前11時2分、長崎の街は一発の原子爆弾により壊滅的な被害を受け、約15万人の人たちが死傷しました。辛うじて生き残った被爆者は、77年経った今なお、「世界中の誰にも二度と同じ体験をさせてはならない」という確固たる思いで、自らの体験を語り、核兵器廃絶を訴え続けています。

しかし、世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵略などにより、核兵器のない世界への道は険しさを増すばかりか、再び使用されるリスクが急速に高まっています。

核兵器の問題は、広島と長崎の過去の問題ではなく、世界が直面する今と未来の問題です。核兵器のリスクから、人類を守るための唯一の方法は「廃絶」しかありません。

だからこそ、私たち市民社会が力を合わせて声を上げていくことが重要です。

そして、その礎となるのは、このような機会を通して、多くの人と核兵器廃絶への思いを共有することだと思います。

長崎市は、これからも平和を築く力になりたいと思う全ての人たちと手を携えて、核兵器廃絶を訴え続けてまいります。

皆様方におかれましては、これからも核兵器のない世界をめざして共に歩み続ける、力強く大切な仲間として、平和の輪を大きく広げられることを心から願っています。

最後になりましたが、主催者の皆様方をはじめ、本日参加の皆様方の今後のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

令和4年8月15日

長崎市長 田上 富久